

# ひのら日だより

日野町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。



## 日野中学校

《生徒数547名》

校訓 「進取」

【学校教育目標】 創造力豊かで、たくましい生徒の育成  
【めざす生徒像】 やる気のある生徒

4月：修学旅行：長崎での平和学習、異文化自主研、民泊体験  
5月：中学校体育連盟（以下「中体連」）春季総体  
6月：わたむきホール虹に響きわたる伝統の合唱コンクール  
7月：中体連夏季総体ブロック予選：多くの部が県大会出場権獲得  
8月：中体連近畿大会、NHKコンクール、中日吹奏楽コンクール等へ参加  
9月：群発表など体育祭は大成功、50周年記念芸術鑑賞会  
音楽部：NHKコンクール近畿、関西合唱コンクールで高評価を得ました  
10月：秋季総体、第42回音楽部定期演奏会は圧巻の演奏を披露  
創立50周年を迎え、落ち着いた雰囲気の中で授業が進められ、行事には熱心に取り組み、各種大会で活躍する姿が見られます。  
伝統の継承と発展にチャレンジする日野中生です。



日野中生  
の躍動！

○音楽部：関西合唱コンクール銅賞 ○中体連：個人種目6名近畿大会出場  
○吹奏楽部：中日吹奏楽コンクール県大会金賞 ○私の思い2018県議会議長賞 等々

## 桜谷小学校

【学校教育目標】

一人ひとりが喜びと充実感を味わえる学校  
～あたたかい人間関係を通して～



全校児童 88名の小規模校ですが、保護者や地域の方々に見守られながら、一人ひとりの子どもたちがいろいろな場面で生き生きと活動しています。誰もが仲が良く、

大きな声で進んであいさつができる子どもたちです。目指す子ども像「学ぶ子」「やさしい子」「健康な子」を目指して特色ある教育活動を進めています。

### 学ぶ子（確かな学力）

教室にはプロジェクターとスクリーンが備え付けられており、タブレット型パソコンと接続し、映像や資料、デジタル教科書などを映し出しながら授業を進めることができます。ICT機器の活用や少人数学級の強みを活かし、基礎基本の学力の定着を目指したわかりやすい授業の実践に努めています。また、裏山やビオトープを中心とした学校周辺は子どもたちの生き物観察の場所となっています。



ICTを活用した授業

### やさしい子（豊かな心）

運動会、裏山登山、縦割りレクなど学校生活のいろいろな場面で高学年が中心となり縦割り活動を行っています。上級生が下級生を指導し、下級生が上級生に教えてもらう中で、お互いを思いやる心や上級生としての自覚を育てます。また、下級生は上級生に未来の自分たちを見つけ、良き伝統が引き継がれていきます。秋の「森のレストラン」は、地域の方々への感謝の気持ちを表す行事として定着しています。



縦割りレクリエーション

### 健康な子（健やかな体）

健やかタイム、遠足、マラソン大会などの活動を通じて健やかな体づくりに取り組んでいます。特に、週2回の健やかタイムでは裏山サーキットや雑巾がけリレーで体力づくり、運動場や体育館でのサーキット運動では様々な動きの要素を取り入れた運動を行っています。また、成長期の子どもたちを支えるものとなる食育教育にも力を入れています。



裏山サーキット

◆問い合わせ先 教育委員会事務局 学校教育課 ☎0748-52-6564

# ニホンザルの追払い

ニホンザルによる農作物被害を防ぐためには、電気柵の設置、不要果樹の伐採、個体数の管理（捕獲）など様々な対策がありますが、その一つに追払いがあります。

ニホンザルは、高い知能を有しています。追払いは、ニホンザルに対して、「人間は怖いもの」「集落に近づくこと危険だ」と学習させることで、集落への侵入を防ぎます。

ここでは、ニホンザルの追払いを効果的に行うための方法や注意点について紹介します。

## 追払い方法

### ●集落ぐるみで追払う

サルは人の顔を見わけ、怖い思いをさせられた人を記憶しています。そのため、大勢で追払いを行い、「人間は皆が怖い」と思わせなければ効果は低いです。

町では、ロケット花火を配布し、追払いをお願いします。しかし、サルは大きな音を怖がるわけではあ

りません。サルが最も恐れるのは人間です。複数の人間が追うことが大切です。

また、女性だとサルが逃げないと言われますが、裏を返すと女性だとサルに近づきやすいという事です。

サルは人を見ます。自分より弱い存在だと思っている女性に怖い思いをさせられると、追払いの効果はよくなります。



集落で協力してチームで追い払う

### ●5人で追払う

農繁期・農閑期に関わらず、また、狙われた作物が、人間が食べる物かどうかに関わらず、サルを見かけたら必ず追払いましょう。人間が見過ぎて、サルが容易に作物を食べられる状況が続けば「この場所は安全に餌が得られる」という学習をさせていることとなります。

### ●集落を出るまで追払う

サルは日々移動しながら生活しています。進行方向を遮るのではなく、次の山へ追いやるイメージで追いかけてください。そうすることで、集落に居つく時間を短くすることができます。サルを追払う時には、農地から居なくなる（出ていく）だけではなく、集落から居なくなるまでしっかり追払いをしてください。山へ追払う（追上げ）場合には、山の深くまで追払う（追上げ）ほど効果的です。

### ●根気強く

サルの追払いは教育です。出没回数が減るまでには数か月かかる場合もあります。集落内で当番を組むなど、特定の人に負担がかかりすぎないように、焦らずに無理のないようにしましょう。

## 追払いを行う上での注意点

・花火を使うときは、建物や電線に対し安全な距離をとってください。  
・花火は枯草などに飛び火して火事につながる危険性があります。花火が不発の場合には、火が残っている可能性がありますので、落下箇所を確認するなど特に注意してください。

・花火は非常に軽く、風に影響され、思いがけない方向に飛ぶ場合があります。風向きには十分注意してください。

日野町有害鳥獣被害対策協議会では、ロケット花火を無償で配布しています。また、電動工アガンの貸し出しも行っています（台数に限り有り）。ご利用の際には農林課へお問い合わせください。



### ◆問い合わせ先

農林課 日野町有害鳥獣被害対策協議会  
☎0748-52-6512